

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)

【公開番号】特開 2015-103016 (P2015-103016A)

【公開日】平成 27 年 6 月 4 日 (2015.6.4)

【年通号数】公開・登録公報 2015-036

【出願番号】特願 2013-243056 (P2013-243056)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/20 (2017.01)

【F I】

G 0 6 T 7/20 B

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 15 日 (2016.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像内の 1 つ以上のオブジェクトを追跡してオブジェクト毎にオブジェクトの識別子と時刻と位置とが対応付けられたオブジェクト追跡情報を生成する情報生成手段と、

前記情報生成手段によってオブジェクト毎に生成されるオブジェクト追跡情報の信頼度を算出する信頼度算出手段と、

オブジェクト追跡情報の信頼度を時間軸上に表示する表示手段とを備えることを特徴とする情報表示装置。

【請求項 2】

前記信頼度算出手段が、第 1 のオブジェクトに関する第 1 のフレームの映像と、第 1 のオブジェクトに関する第 2 のフレームの映像との類似度が第 1 の閾値以下へ低下した場合に、オブジェクト追跡情報の信頼度の低下を検出することを特徴とする請求項 1 に記載の情報表示装置

【請求項 3】

前記信頼度算出手段は複数の追跡オブジェクト間の距離が第 2 の閾値以下へ低下した場合に、オブジェクト追跡情報の信頼度の低下を検出することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報表示装置。

【請求項 4】

複数の追跡オブジェクト間の距離が第 3 の閾値以下へ低下した場合に、オブジェクト同士の交錯状態を検出する交錯状態検出手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の情報表示装置。

【請求項 5】

前記各オブジェクトの追跡情報が対応付けられている生成元の映像を記憶する手段をさらに備え、

前記表示手段が、

前記交錯状態検出手段が第 1 のオブジェクトと第 2 のオブジェクトの交錯を検出した場合に、

前記時間軸上の、前記第 1 のオブジェクトに対応する領域と前記第 2 のオブジェクトに対応する領域の、前記交錯状態検出手段が交錯を検出した交錯時刻に対応する位置に、交錯が検出されたことを示すマーカを表示し、かつ

前記記憶された生成元の映像中から、前記第 1 のオブジェクトの前記交錯時刻の前後の映像と、前記第 2 のオブジェクトの前記交錯時刻の前後の映像とを切り出して同時に表示することを特徴とする請求項 4 に記載の情報表示装置。

【請求項 6】

前記第 1 のオブジェクトのオブジェクト追跡情報と前記第 2 のオブジェクトのオブジェクト追跡情報との入れ替え指示を受け付ける受付手段と、

前記受付手段が入れ替え指示を受け付けた場合に、前記交錯時刻の後のオブジェクト追跡情報であって、前記第 1 のオブジェクトの情報として記憶されていたオブジェクト追跡情報と、前記第 2 のオブジェクトの情報として記憶されていたオブジェクト追跡情報とを入れ替える入替え手段と

をさらに備えることを特徴とする請求項 5 に記載の情報表示装置。

【請求項 7】

前記情報生成手段が、オブジェクトの動作を解析して、イベント識別子とイベント生起時刻とオブジェクト識別子とを含む動作解析情報をさらに生成し、

前記入替え手段が、前記第 1 のオブジェクトと前記第 2 のオブジェクトに関するオブジェクト追跡情報を入れ替える際に、前記第 1 のオブジェクトと前記第 2 のオブジェクトに関する前記動作解析情報も入れ替える

ことを特徴とする請求項 6 に記載の情報表示装置。

【請求項 8】

コンピュータを、請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の情報表示装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 9】

映像内の 1 つ以上のオブジェクトを追跡してオブジェクト毎にオブジェクトの識別子と時刻と位置とが対応付けられたオブジェクト追跡情報を生成する情報生成工程と、

前記情報生成工程によってオブジェクト毎に生成されるオブジェクト追跡情報の信頼度を算出する信頼度算出工程と、

オブジェクト追跡情報の信頼度を時間軸上に表示する表示工程とを備えることを特徴とする情報表示方法。